

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)泉佐野市りんくう往来南倉庫新築工事	階数	地上6F
建設地	大阪府泉佐野市りんくう往来南	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	15 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,285 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2021年11月1日
敷地面積	5,117 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業 辰巳大輔
建築面積	3,407 m <sup>2</sup>	確認日	2021年11月2日
延床面積	15,417 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業 辰巳大輔



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0

音環境	3.4
温熱環境	2.6
光・視環境	3.3
空気質環境	3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

機能性	2.8
耐用性	2.9
対応性	3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	1.5

#### LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	N.A.
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.3

水資源	3.0
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.8

地球温暖化	N.A.
地域環境	2.3
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	階高に十分なゆとりがあり、休憩室の確保で建物利用者の環境への配慮がなされている。節水設備やLED器具の採用は省エネルギーの配慮となっている。	その他
Q1 室内環境	事務室には一部分に開閉の窓を設け、自然採光及び通風換気を確保できるようにしている。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	LED照明を採用するなど設備システム高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル
		LR3 敷地外環境
		広告物照明無し。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0078

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)泉佐野市りんくう往来南倉庫新築工事						
	建設地	大阪府泉佐野市りんくう往来南						
	用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-1	
①	CO2削減						評価対象外	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						評価対象外	
④	エネルギー削減						評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価					-	
②	みどり・ヒートアイランド対策						2	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				1.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					-	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					-	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							